

2025 年度
社会福祉法人 明德福社会

事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日
至 2026 年 3 月 31 日

- 1 法人本部
- 2 めいとく保育園
- 3 明德釜利谷保育園
- 4 明德二俣川保育園
- 5 明德かみつるま保育園

～ 明徳福祉会 3つの誓い～

<保育理念>

子どもの人権や主体性を尊重し 保護者や地域社会と力を合わせて 子どもの最善の
幸せのために努力する

<保育方針>

子どもの健康と安全を基本にし 豊かな人間性と生き生きとした子どもを育成する

<保育目標>

基本的な生活習慣を身につけ 集団の中で 元気な体・考える頭・愛する心を育てる

～年齢別保育目標～

0 歳 児	保育者との親密な関わりを持ち、安定した人間関係を持つ。 活動しやすいくつろいだ環境の中で歩行を目指し、いろいろな運動を楽しむ。 様々なサインをしっかり受け止められ、自己表現が活発になる。
1 歳 児	自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を知る。 保育者に親しみ、気持ちや感情を交流させながら機嫌良く過ごす。また、友だちにも 関心を示す。
2 歳 児	基本的な生活習慣を身につけながら、自分で行おうとする。 体験を通して、いろいろな言葉を習得し、言葉で表現しようとする。 いろいろな運動あそびを通して、運動機能の発達をはかる。
3 歳 児	基本的な生活習慣を身につけ、何でも自分で行おうとする。 いろいろな行事を体験し、園生活の楽しさを知る。
4 歳 児	いろいろな活動を通して、友だちや保育者との関わりを深めて楽しくあそぶ。 生活の決まりを守り、良い生活習慣を身につける。
5 歳 児	自然環境に働きかけ、よく見たり触れたり試したりしてあそぶ。 友だちの良さを認め合いながら、個々の力を十分発揮する。 生活やあそびの中で、一つの目標に向かって力を合わせて活動し、達成感や充実感 を味わう

1. 法人本部 事業報告

1. 法人本部における業務実施状況

(1) 総括

2026年度は、保育人材不足、物価・光熱費・委託費等の上昇など、保育事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、法人経営の安定化と保育の質の向上を両立させることを基本方針として事業運営を行った年度であった。各園においては、子どもの安全確保と健やかな成長支援を最優先に、日々の保育実践、保護者支援、地域との連携を着実に進めた。

また、法人本部においては、理事長交代後の新体制のもと、従来の課題であった規程整備、労務管理、設備更新、情報管理、内部統制等の見直しを進め、将来にわたり持続可能な法人運営を行うための基盤整備に注力した。現場と本部が連携しながら、安定した法人運営体制の構築を進めた一年であった。

(2) 法人運営・ガバナンス体制

理事会及び評議員会については、法令、定款及び諸規程に基づき適正に開催し、重要事項の審議決定を行った。理事会では、事業計画、予算・補正予算、決算、規程改定、人事案件、施設整備案件、各種契約案件等について活発な議論を行い、透明性と説明責任を意識した法人運営に努めた。

2025年6月には理事長の交代が行われ、新理事長体制へ円滑に移行した。新体制においては、現場の保育実践を尊重しながら、経営面・組織面の整備を進める方針が確認され、各園長との連携強化、本部機能の再整理、意思決定の迅速化に取り組んだ。理事・監事・評議員との連携を図りながら、社会福祉法人として求められる公益性・公共性・健全性の確保に努めた。

(3) 人材確保・職員処遇・労務環境整備

保育事業継続の基盤となる人材確保及び定着支援のため、給与制度、賞与制度、退職金制度、各種休暇制度の見直しを進めた。特に常勤職員、常勤的非常勤職員、非常勤職員等、多様な勤務形態に対応した制度設計を進め、職員が安心して長く働ける環境整備に努めた。

給与規程の改定、パートタイマー時給改定、賞与支給基準の整理を行うとともに、就業規則、パートタイマー就業規則、育児・介護休業規程等を改定し、法改正や実態に即した制度へ見直しを行った。また、退職金制度についても加入条件や運用実態の確認を行い、未整備部分の整理と職員への説明体制の改善に取り組んだ。

さらに、理事長による職員との対話機会の創出や、現場意見の吸い上げ体制づくりを進め、働きやすい職場環境の形成に努めた。人材不足が続く中においても、処遇改善と職場環境改善の両面から人材定着率向上を目指した。

(4) 施設整備・保育環境向上

園児及び職員が安全・安心に過ごせる環境を維持するため、各施設の老朽化対策、設備更新、修繕工事を計画的に実施した。めいとか保育園においては外装改修工事及び屋上バルコニー改修工事を進め、施設の安全性及び耐久性向上を図った。

また、明德二俣川保育園では給食設備更新を行い、給食提供体制の安定化と衛生管理向上に努めた。明德釜利谷保育園では給湯器更新計画を策定し、突発的故障による保育運営への影響を未然に防ぐための予防保全に取り組んだ。

各園とも日常点検を徹底し、必要な修繕・更新を順次進めることで、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに努めた。

(5) ICT 化・業務効率化

法人運営の効率化と将来的な人手不足への対応として、ICT 化の推進にも取り組んだ。勤怠管理システム導入の準備を進め、手書き勤怠や転記作業に依存していた業務フローの改善を図った。これにより、労務管理の適正化、集計ミス防止、管理負担軽減を目指した。

また、来年度に向け 電話設備、通信機器、ネットワーク環境、パソコン管理体制等についても見直しを行い、コスト削減と安定運用の両立を図った。外部業者への依存体制を点検し、契約内容の適正化や保守体制の再構築にも着手した。今後も ICT 活用を進め、現場が保育業務に集中できる環境整備を継続していく。

(6) 内部統制・コンプライアンス強化

社会福祉法人として高い公益性と信頼性が求められることから、内部統制及びコンプライアンス体制の強化を重点課題として取り組んだ。内部統制規程、職務分掌規程、懲戒委員会規程、文書保存規程等を整備し、責任体制の明確化と業務ルールの統一を進めた。

また、過年度案件を含むコンプライアンス事案については、理事会において事実確認及び再発防止策を審議し、必要な行政報告、返金対応、承認プロセスの見直し等を実施した。備品購入、給与計算、利益相反管理等の各分野について改善を進め、組織的な牽制機能の強化に努めた。

さらに、役員賠償責任保険への加入により、法人役員が適切な判断のもと職務執行できる環境整備を図った。

(7) 地域・保護者対応

各園においては、保護者との信頼関係構築を基本に、日々の情報共有、相談対応、行事運営等を丁寧に行った。また、近年増加する困難事例や過度な要求への対応として、カスタマーハラスメント対応指針を整備し、職員が安心して働ける環境づくりを進めた。必要に応じて行政・専門機関と連携し、適切な対応体制の整備に努めた。

(8) 今後の課題と展望

今後は、少子化による入所児童数の変化を見据えた経営戦略、人材確保と育成、施設老朽化への継続対応、本部機能のさらなる強化、ICT 活用推進、コンプライアンス徹底が重要課題となる。

明德福祉会は、地域に根ざした社会福祉法人として、子どもの最善の利益を第一に考え、保護者・地域社会から信頼される保育運営を継続するとともに、健全で透明性の高い法人経営の実現に努めていく。

2. 会議の開催状況

(1) 理事会

◎2025年5月27日 第1回理事会

《議案》

第1号議案 2024年度事業報告(案)

第2号議案 2024年度決算報告書(案)

社会福祉充実残額について・監事監査報告

第3号議案 パートタイマー就業規則の改定(案)

第4号議案 法人用クレジットカードの発行(案)

第5号議案 経理規程の改定(案)

第6号議案 苦情解決に関する規程(案)

第7号議案 役員等報酬等に関する規程の改定(案)

第8号議案 任期満了に伴う評議員会への理事及び監事候補者の推薦

第9号議案 評議員選任・解任委員会の開催について

第10号議案 定時評議員会の開催について

◎2025年6月24日 第2回理事会

《議案》

第1号議案 就業規則の改定(案)について

第2号議案 パートタイマー就業規則の改定(案)について

第3号議案 給与規程の改定(案)について

第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について

第5号議案 大塚商会ワンストップサービスについて

第6号議案 本部移転について

第7号議案 理事長の選任について

◎2025年10月2日 第3回理事会(決議の省略)

《議案》

第1号議案 パートタイマー側隠の昇給に関する細則の改正(案)

第2号議案 育児・介護休業規程の改正(案)

第3号議案 文書保存規程の給与規程の改正(案)について

第4号議案 役員賠償保険契約について

第5号議案 めいとく保育園の屋上バルコニー改修工事の実施について

◎2025年11月17日 第4回理事会

《議案》

第1号議案 パートタイマー就業規則の改定(案)について

第2号議案 めいとく保育園外装等改修工事契約について

第3号議案 明德二俣川保育園給食設備のリース契約について

第4号議案 借り上げ社宅規程の改定(案)について

第5号議案 理事会懇親会の開催について

◎2026年1月30日 第5回理事会

《議案》

第1号議案 めいとく外装工事入札結果について

第2号議案 2026年度給与改定について

第3号議案 コンプライアンスインシデント(かみつるま保育園)について

第4号議案 「かみつるま園長の任免について」(2023年5月12日臨時理事会)行政及び評議員会への報告について

第5号議案 「明徳かみつるま保育園の園長の任免について」(2023年6月29日理事会)に関する利益相反事案について

◎2026年3月25日 第6回理事会

《議案》

第1号議案 2025年度 補正予算(案)

第2号議案 2025年度 事業計画及び当初予算(案)

第3号議案 施設長(園長)任命(案)

第4号議案 就業規則の改定(案)

第5号議案 給与規程の改定(案)

第6号議案 パートタイマー就業規則の改定(案)

第7号議案 育児・介護休業規程の改定(案)

第8号議案 経理規程の改定(案)

第9号議案 2026年度パートタイマーの時給改定及び賞与について

第10号議案 懲戒委員規定(案)

第11号議案 内部統制規定の改定(案)

第12号議案 業務分担規定(案)

第13号議案 給食業者の選定について

第14号議案 釜利谷保育園外装等改修工事の業者選定について

第15号議案 ネットワーク(電話設備及び通信機器)業者の選定について

第16号議案 横浜市社協借入金の連帯保証人変更契約について

第17号議案 役員賠償責任補償保険の契約について

第18号議案 「カスタマーハラスメント」対応指針について

(2) 評議員会

◎2025 年 6 月 17 日 第 1 回評議員会

《議案》

第 1 号議案 2024(令和 6)年度決算(案)について

監事監査報告 社会福祉充実残高算定シート

第 2 号議案 役員等報酬等に関する規定の改定(案)について

第 3 号議案 任期満了にかかる理事及び監事の選任(案)について

(3) 評議員選任・解任委員会

◎2025 年 5 月 27 日 第 1 回評議員選任・解任委員会

《議案》

第 1 号議案 2025 年度評議員選任案について

(4) 運営会議

○2025 年 4 月 16 日 第 1 回運営会議

○2025 年 5 月 20 日 第 2 回運営会議

○2025 年 6 月 20 日 第 3 回運営会議

○2025 年 7 月 24 日 第 4 回運営会議

○2025 年 8 月 21 日 第 5 回運営会議 (各園で開催)

○2025 年 9 月 18 日 第 6 回運営会議

○2025 年 10 月 23 日 第 7 回運営会議

○2025 年 11 月 18 日 第 8 回運営会議

○2025 年 12 月 22 日 第 9 回運営会議

○2026 年 1 月 22 日 第 10 回運営会議

○2026 年 2 月 19 日 第 11 回運営会議

○2026 年 3 月 18 日 第 12 回運営会議

2. めいとく保育園 事業報告

子ども一人ひとりの発達や生活リズムを大切にしながら、安心して過ごせる環境の中で保育を実施した。

日々の生活やあそびを通して主体性や社会性の育ちを支えると共に、異年齢児との関わりや自然との触れ合いを取り入れた保育を行った。

また、季節行事や誕生会、避難訓練等を計画的に実施し、安全面に配慮した園運営に努めた。

保護者との連携にお手は、連絡帳や送迎時の対話を通して情報共有を行い、信頼関係の構築に努めた。また、子どもが主体的に活動に関わることを大切に、興味や関心に応じた保育の展開を心がけた。

(1) 年齢別保育目標の実施状況

- 0 歳児 保育者とのかかわりを通して、安定した人間関係の中で自己表現ができるよう保育に努めた。その中で、安心した表情で過ごし、しぐさや発声で思いを表す姿が見られた。
 - 1 歳児 自分でしようとする気持ちを大切に、一人ひとりの成長発達を踏まえた保育に努めた。身の回りのことに自ら関わろうとする姿や、やってみようする意欲がみられた。
 - 2 歳児 生活あそびの中で、言葉や身体で表現する機会が増え、これを尊重した保育に努めた。言葉で気持ちを伝えようとする姿や、友だちとのやり取りが広がる様子が見られた。
 - 3 歳児 行事内容を工夫することで体験、経験を重ねていった。また日々の保育の中で楽しさを見つけ過ごせるよう努めた。自分なりの楽しみ方を見つけ、意欲的に活動に関わる姿が見られた。
 - 4 歳児 友だちや保育者との関係の中で、生活の決まりや生活習慣を体感しながら習得できるよう努めた。友だちとの関わりの中で、自分の思いを伝えたり折り合いをつけようとする姿が見られた。
 - 5 歳児 一つの目標に向かって力を合わせて活動するなかで、達成感や充実感を味わうことができるよう努めた。友だちと協力しながら活動を進める姿や、やり遂げた喜びを共有する様子が見られた。また、行事についても子どもたちの思いや興味を取り入れながら進めることで、主体的に関わる姿が見られた。
- 全クラス共通して、園内外のあそびの中でいろいろと工夫した保育に努めた。

◎重点実施事項に対する取り組み

人材育成

園内研修や日々の保育の振り返りを通して、職員の保育力向上に取り組んだ。子どもの姿を共有しながら保育内容を検討することで、子ども主体の保育について考える機会となった。一方で、職員間で経験年数や理解度に差がみられる場面もあり、今後も継続的な学びの機会や育成体制の整理が課題として挙げられた。

地域施設との交流・連携

地域施設との交流については、計画段階において具体的な実施方法や調整が十分でなく、実施には至らなかった。一方で、地域の保育園との交流については実施することができ、子ども同士の関わりの中で刺激を受ける様子が見られた。

今後は、計画段階から実施方法や連携体制を明確にし、無理のない形で継続的に取り組めるよう改善していく。

ICT活用

保護者連絡や記録業務等にICTを活用し、業務効率化を図った。情報共有が円滑になり、記録確認や連携のしやすさにつながった。

また、保護者との連絡においても、スムーズな情報共有につながる場面がみられた。

ICT活用の定着

ICT活用については日々の業務の中で継続的に使用することで、徐々に活用が定着してきた。一方で、職員間で操作面や活用方法に差がみられる場面もあり、運用ルールの整理や継続的なフォローが必要である。

業務効率化だけでなく、保育の振り返りや情報共有にも活かせるよう取り組んでいく。

(2) 年間行事計画の実施状況

○毎年の慣例行事

月	実 施 内 容
4月	2025年度保育始め、入園式、進級式 懇談会（1～5歳児）
5月	ミニ遠足（3～5歳児）
6月	個人面談
7月	水あそび、七夕、おひさま保育（5歳児）
8月	水あそび、プールあそび、夏祭り
9月	防災訓練
10月	運動会、個人面談5歳児、園児健康診断
12月	お楽しみ会幼児、クリスマス会
1月	個人面談0～4歳児
2月	節分、懇談会5歳児、※お楽しみ会（幼児）
3月	ひなまつり、遠足、卒園式、進級説明会・懇談会0～4歳児

行事については、発達段階に応じた見直しを行い、0、1歳児は運動会とは別の形で実施した。2歳以上児については、日々のあそびの延長として無理のない形で取り組むことができた。

また、年長児のお泊り保育については、宿泊自体を目的とするのではなく、子どもたちにもどのような経験をさせたいかという視点から内容を再構成し、泊まらない形で実施した。子どもたちの主体的な関わりが多くみられ、意欲的に活動に取り組む姿が見られた。

○月例行事

・誕生会（園児と保護者と職員で実施） ・食育（クッキング等）

(3) 地域交流の実施状況

実 施：幼保小連携事業（年数回）体育館で小学生と交流
 みなっち杯（地域ごと、数園ずつにわかれて実施）
 その他、地域のお祭り、清掃活動等への参加（職員）

2. 園児数及び職員の状況

(1) 2025 年度園児数の推移

		保育 日数	年 齢						合 計
			0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
定 員			9	9	9	9	9	9	54
4 月	25		5	9	9	9	10	8	50
5 月	24		5	9	9	9	10	8	50
6 月	25		5	9	9	9	10	8	50
7 月	26		4	9	9	9	10	8	49
8 月	25		4	9	9	9	10	8	49
9 月	24		4	9	9	9	10	8	49
10 月	26		7	9	9	9	10	8	52
11 月	23		8	9	9	9	10	8	53
12 月	24		8	9	9	9	10	8	53
1 月	23		8	9	9	9	10	8	53
2 月	22		8	9	9	9	10	8	53
3 月	25		8	9	9	9	10	8	53
合 計	292		74	108	108	108	120	96	614
対定員充足率	%		69%	100%	100%	100%	111%	89%	95%

(一時預かり事業実施状況)

一時保育利用者数							
	年 齢						合 計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
4 月	4	0	0	0	0	0	4
5 月	7	0	2	0	0	0	9
6 月	11	0	2	0	0	0	13
7 月	9	0	0	5	0	0	14
8 月	7	0	0	14	0	0	21
9 月	12	1	0	0	0	0	13
10 月	5	3	0	0	0	0	8
11 月	5	1	0	0	0	0	6
12 月	3	0	0	2	0	0	5

1 月	4	0	0	4	0	0	8
2 月	4	0	0	0	0	0	4
3 月	3	0	0	7	0	0	10
合計	74	5	4	32	0	0	115

一時預かり事業については、0 歳児クラスの空きを活用しながら積極的な受け入れを行った。特に夏季期間においては、幼稚園の長期休暇に伴う利用ニーズに対応し、継続的に受け入れを実施した。利用家庭からは就労や家庭状況に応じた利用につながる場面もみられ、地域の子育て支援の一助となった。今後も園の受け入れ状況を踏まえながら、柔軟な対応を行っていく。

(2) 職員の状況 (2026.3.31 現在 20 名)

施設長 1 名、主任 1 名、保育士 15 名 (うち非常勤 6 名、保育士 1 名産育休)

子育て支援員 1 名 (非常勤)、保健師 1 名 (非常勤)、管理栄養士 1 名 (4 施設巡回指導・子育て支援員)、事務 1 名 (常勤)

職員配置については、配置基準を満たしながら運営を行った。

保育内容や行事について職員間で話し合いを重ね、子どもの発達や主体性を踏まえた保育の実施に努めた。

一方で行事準備や計画立案において負担が集中する場面も見られたため、業務内容や進め方について整理していきたい。

3. 園児の健康・安全管理等

(1) 健康管理 (感染症対策含む)

- ・健康診断 年 2 回 (5 月、10 月) 嘱託医：南部病院医師
- ・歯科健診 年 2 回 (5 月、11 月) 嘱託歯科医：青山医院歯科医
- ・視聴覚検査 年 1 回 (3 歳児対象)、尿検査 年 1 回 (幼児)
- ・保健指導 年数回 (全園児、幼児、5 歳児)
- ・保健だより：毎月発行

※国や自治体のガイドラインに基づき、手洗い、消毒、換気等の感染症対策を継続して実施した。2 月にインフルエンザ、3 月に新型コロナウイルス感染症の流行がみられ、行政への報告を含めた対応を行った。

感染状況に応じて保護者への周知や職員間での情報共有を行い、感染拡大防止に努めた。

今後も、感染症発生時の対応や環境整備について継続的に見直しを行っていく必要がある。

(2) 栄養管理 (アレルギー対策含む)

- ・集団給食施設栄養報告：年 1 回
- ・給食会議：毎月 1 回 当園の管理栄養士と委託会社の栄養士の連携した食育推進を行った。食育活動では、野菜の栽培やクッキング等を取り入れ、子どもたちが食材に親しみを持てるよう取り組んだ。自分たちで育てたり調理に関わった経験を通して、食への興味関心が広がり、意欲的に食べようとする姿が見られた。また、季節行事に合わせた献立や食育活動を取り入れることで、楽しみながら食文化に触れる機会を設けた。

(3) 安全管理ほか

設備や玩具等の安全点検を定期的実施し、必要に応じて修繕や環境整備を行った。

ヒヤリハット、インシデント報告書、怪我報告については職員間で共有し、事故防止や再発防止について検討を行った。

また、避難訓練や各種訓練を計画的に実施し、災害時対応について確認を行った。

一方で、職員によって危険箇所への気づきや対応に差がみられる場面もあり、安全管理に対する意識共有の継続が課題である。

4. 保護者との連携

日々の送迎時の対話を始め、個人面談や電子連絡帳を活用しながら、保護者との情報共有に努めた。また、園だより、クラスだより、給食だより等を通して園での様子や取り組みを発信した。

クラス懇談会を実施し、園での生活や子どもの育ちについて共有する機会を設けた。特に5歳児クラスにおいては卒園に向けた取り組みについて保護者と共通理解を図りながら進めることができた。

苦情等は特になく、保護者アンケートを実施し、今後の園運営や保育内容の見直しにつなげた。

5. 園運営の管理

職員会議、クラス会議、行事会議等を定期的実施し、職員間で情報共有や保育内容の確認を行った。また、必要に応じて個別に話し合いの場を設け、子どもの姿や行事内容について検討を行った。行事については、従来の形式にとらわれず、子どもの発達や主体性を踏まえた内容となるよう見直しを進めた。

6. 地域子育て支援の実施状況

育児講座については年間計画に沿って実施したが、参加人数にばらつきが見られ、地域への周知方法等については課題が見られた。貸し出し図書については、在園児家庭を中心に利用があり、親子で絵本に触れる機会づくりにつながった。一方で、地域家庭への利用拡大には至らなかったため、今後は周知方法や実施内容について検討していく必要がある。

7. 職員研修計画の実施状況 ※アンダーラインはオンライン研修

月	研 修 内 容	主 催
6 月	キャリアアップ研修（マネジメント）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市私立保育園こども園園長会
	感染症対策研修	3区合同ネットワーク研修
7 月	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市子ども青少年局
	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市私立保育園こども園園長会
	中部療育センター見学	南区ネットワーク研修（公私合同）
8 月	保育要録学習会	南区ネットワーク研修（公私合同）

	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市子ども青少年局
9月	キャリアアップ研修（マネジメント）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市子ども青少年局
	キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市私立保育園こども園園長会
	給食施設管理研修会	南区保健福祉センター
10月	キャリアアップ研修（マネジメント）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（障害児保育）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（保健衛生・安全管理）	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	株式会社ポピンズ
	キャリアアップ研修（障害児保育）	横浜市私立保育園こども園園長会
	給食施設管理研修会	南区保健福祉センター
11月	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	株式会社ポピンズ
	キャリアアップ研修（マネジメント）	株式会社ポピンズ
12月	保育要録学習会	南区ネットワーク研修（公私合同）
	心を育む性についての研修	南区ネットワーク研修（公私合同）
	キャリアアップ研修（マネジメント）	株式会社ポピンズ
	キャリアアップ研修（障害児）	株式会社ポピンズ
1月	キャリアアップ研修（障害児）	株式会社ポピンズ
2月	アレルギー研修	横浜市子ども青少年局
3月	アレルギー研修	横浜市子ども青少年局

8. 施設の管理及び点検状況

各種設備について定期点検を実施し、安全管理及び設備維持に努めた。

点検により確認された不具合については、必要に応じて修繕や整備を行い、安全な保育環境の維持に取り組んだ。

また、設備管理業者と連携しながら、継続的な施設管理を行った。

○定期点検 給食室機材保守点検、消防設備点検（年2回）、エレベーター点検

給食室ダムウェーター点検（年6回）、浄水器点検（年1回）、害虫駆除（年2回）

グリストラップ清掃（年1回）、カーテンクリーニングメンテナンス（年1回）

9. 修繕及び備品等整備状況

園舎設備の老朽化や安全面を踏まえ、必要な修繕および整備を実施した。

特に今年度は屋上防水工事、EVピット止水工事、外壁等改修工事を実施し、施設環境の改善及び安全性向上を図った。

工事期間については、保育への影響や安全面に配慮しながら運営を行った。

今後も設備状況を確認しながら、必要な修繕および環境整備を進めていく。

○修繕実施状況

月	修 繕 内 容	金 額
4 月	昇降機部品交換工事	649,968 円
5 月	空調フィルター洗浄、換気扇清掃、ロスナイ換気扇清掃、 厨房事務室 LED ランプ交換	170,000 円
11～ 12 月	屋上他防水工事 E Vピット止水工事	5,500,000 円 420,000 円
1 月	倉庫土台作成工事	260,000 円
2～3 月	外壁等改修工事一式 3 階ルーフバルコニーゴムチップ塗装工事	12,914,000 円 352,000 円

○備品購入（10 万円以上）

株式会社日本HP ノートパソコン 2 台購入 223,740 円

まるこ家具店 玄関備蓄倉庫、ベース 各 2 点購入 168,168 円

給食企画体 強化磁器 165 点（カップ、皿、ボウル、深皿）購入 168,091 円

ジャクエツ デザインコンテナ整理棚一式（送料込み） 130,020 円

3. 明德釜利谷保育園 事業報告

1. 園における保育実施概要

緑あふれる釜利谷南西地域の周辺には、多くの公園があり、季節の移り変わりを心身で感じられるとても自然に恵まれた小高い住宅街に位置している。

リスに出会うこともある環境を生かし、自然体験を常に味わいワクワクする気持ちが生まれ友だち大好き・自分も大好き。笑顔がいっぱいになるような保育を目指して実践した。

日差しがたっぷり入る明るい園舎や無限の遊びが広がる園庭では、時には異年齢児保育が展開され、2階テラスでは乳児クラスの子どもたちが存分に遊ぶ空間が広がっている。

(1) 年齢別保育目標の実施状況

0歳児 保育者と親密な関わりを持ち安定した人間関係の中で過ごせるよう努めた

1歳児 自分でしようとする気持ちを大切に保育者や友だちに関心を持ち親しめるよう努めた

2歳児 色々な体験や遊びを通して言葉を習得し運動遊びを通して運動機能の発達に努めた

3歳児 基本的な生活習慣を身に付け色々な行事を体験し何でも自分で行おうとしていた

4歳児 活動を通して友だちや保育者との関わりを深め、生活習慣が自然と身についてきた

5歳児 一つの目標に向かって力を合わせて活動し達成感や充実感を皆で味わえた

◎重点実施事項

ICTの推進

- ・ICT化により、必要書類の電子化が進み定着してきた。保護者とのやり取りも確立し保護者から家族間で情報共有ができてよいという話をいただいている。職員間では、書類作成に慣れたことで、書き方について話し合い、適宜変更している。

地域交流の再開

- ・保育園の地域の町内会の定例会に毎月出席し、秋まつりには職員も手伝いに参加した。
- ・年長交流会では近隣4園の保育園のドッジボール大会に参加し、1番メンバーも多く中心行的に行った。
- ・小学校に招かれた時は、知っている卒園児が案内してくれ、小学校を身近に感じて不安を取り除いてくれた。
- ・高齢者施設に年中児が出向き、手遊び歌などで交流をした。

(2) 年間行事計画実施状況

月	実 施 内 容
4月	2025年度保育始め、入園・進級式、乳児親子ふれあい会・懇談会
5月	年長児親子ふれあい会、幼児懇談会、内科健診
6月	個人面談（0歳児～5歳児）、歯科健診、航空写真、プール開き
7月	七夕、お楽しみ保育（5歳）
8月	盆踊り週間（1週目）、わくわく縁日
9月	プール納め
10月	運動会（2～5歳）・釜利谷南小学校グラウンド、ミニ運動会（0・1歳）

	お月見会、内科健診、幼児遠足（3～5歳）
11月	野球ふれあい訪問、エコ集会、七五三の会、歯科健診
12月	生活発表会、冬至、クリスマス会、餅つき、保育納め
1月	保育始め、七草、鏡開き、お店屋さんごっこ、個人面談0歳児～5歳児
2月	節分、懇談会（5歳児）
3月	ひなまつり、高齢者施設訪問（4歳児）、卒園式、入園・進級説明会 懇談会（0～4歳）、卒園遠足、ひまわりドッジボール大会（親子参加）

○月例行事

- ・英語遊び、誕生会、身体計測、食育（クッキング）、保育参加、避難訓練、保健指導、救急対応訓練

(3) 地域交流の実施状況

- ・幼保小連携事業（年数回）
- ・釜利谷西小学校から招待され年長児20名で学校訪問。卒園児も付いて案内をしてくれ久しぶりの交流で卒園児に会えてうれしかったことを報告してくれた。
- ・地域交流4園保育園ドッジボール大会参加
- ・高齢者施設（さとやま）に年中児が訪問をして交流をした。

2. 園児及び職員の状況

(1) 2025年度園児数の推移

	保育 日数	年齢						合計
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
定員		6	18	19	19	19	19	100
4月	25	5	18	18	20	21	21	103
5月	24	6	18	20	20	21	20	105
6月	25	6	18	20	20	21	20	105
7月	26	6	18	20	20	21	20	105
8月	26	6	18	20	20	21	20	105
9月	23	6	18	20	20	21	20	105
10月	26	6	18	20	20	21	20	105
11月	24	6	18	20	20	21	20	105
12月	24	6	18	20	20	21	20	105
1月	23	6	18	19	20	21	20	104
2月	22	6	18	19	20	21	20	104
3月	25	6	18	19	20	21	20	104
合計	293	71	216	235	240	252	241	1272
対定員 充足率	%	99%	100%	103%	105%	111%	106%	104%

(一時預かり事業実施状況)

一時保育利用者数							
	年齢						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	2	0	0	0	0	0	2
5月	0	0	0	7	0	0	7
6月	0	0	0	0	0	3	3
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	10	0	0	10
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	17	0	3	22

(2) 職員の状況 (2026.3.31 現在 30名)

施設長1名、主任1名、保育士25名(うち非常勤16名)、保育補助1名
事務1名、用務員1名

3. 園児の健康・安全管理等

(1) 健康管理(感染症対策含む)

- ・健康診断 年2回(5月、10月) 嘱託医: 南部病院医師
- ・歯科健診 年2回(6月、11月) 嘱託歯科医: 山口歯科医
- ・視聴覚検査 年1回(3歳児対象)、尿検査 年1回(幼児)
- ・保健指導 歯科での歯磨き指導(5歳児)

感染予防対策は、職員の健康チェックを引き続き行っている。(朝夕の検温・症状確認)

玄関前・園内に消毒液は設置し、園児の手洗い、うがいはその都度声掛けを行った。

年明けから続いたリング病が春先まで続いた。秋にインフルエンザに罹患する園児が多く、短期間に2度、3度罹患した園児もいた。

- ・保健だより: 年4回 ※感染症が出た時は臨時で発行し、必ず保護者には知らせた。

(2) 栄養管理(アレルギー対策含む)

- ・食育会議: 毎月1回。食育支援のなかに月齢に応じて野菜の栽培や器具を使った調理体験を行い食事の楽しさを味わった。法人管理栄養士と委託会社と連携を取り食育推進を計った。
アレルギー児に対しても提供のミスがないよう声を掛け合った。

(3) 安全管理ほか

- ・保育の中ではヒヤリ・ハットを記録に残し、大きなケガに繋がらないよう職員全体で周知した。
- ・危険個所があった場合には、直ぐ修理するなど対応した。
- ・一人ひとりの子どもの様子や職員同士、熱中症対策として細目に水分補給をし、冷房をうまく活用しながら徹底した。金沢区の熱中症アラートに沿って活動し、夕方玄関に表示をした。
- ・避難訓練・救急訓練は、計画通り実施した。

4. 保護者との連携

- ・連絡体制は日々の送迎時の口頭でのやりとり、チャイルドケアウェブの電子連絡帳、コネクトの配信、個人面談等で行っている。
- ・園だよりを毎月発行し、クラスだよりは年3回発行
- ・保護者会があり、担当者が主催行事や卒園関連のやり取りを園と行う。
- ・保護者会主催のバルーンアートショーの開催
- ・保護者アンケートは、行事開催後、年度末に実施した。

5. 園運営の管理

職員会議（毎月1回）代表者会議（毎月1回）食育会議（毎月1回）乳児会議・幼児会議
ケース会議、行事会議（都度）その他その都度話し合いを設けた。

6. 地域子育て支援の実施状況

育児講座（年2回）、園庭開放（2025 外遊び応援キャンペーンにエントリー）

7. 職員研修計画の実施状況 ※アンダーラインはオンライン研修

月	研修内容	参加形態
6月	いきいきフェスタ実行委員会	金沢区役所
	キラキラかなざわっこ実行委員会	金沢区役所
7月	キャリアアップ研修・障害児保育	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	幼保小ブロック研修会	金沢区役所こども家庭支援課
8月	キャリアアップ研修・保護者支援	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	<u>キャリアアップ研修・障害児保育</u>	横浜市こども青少年局オンライン研修
	幼保小ブロック研修会	金沢区役所こども家庭支援課
9月	キャリアアップ研修・乳児保育2	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修・障害児保育	横浜市こども青少年局
	<u>キャリアアップ研修・保護者支援</u>	株式会社ポピンズ
	いきいきフェスタ実行委員会	金沢区役所
	幼保小ブロック研修会	金沢区役所こども家庭支援課
10月	<u>キャリアアップ研修・実習指導</u>	横浜市こども青少年局
	キャリアアップ研修・保護者支援	白峰学園横浜女子短期大学保育センター

	キャリアアップ研修・幼児教育	株式会社ポピンズ
	キャリアアップ研修・障害児保育	横浜市こども青少年局
	いきいきフェスタ実行委員会	金沢海の公園
	幼保小ブロック研修会	金沢区役所
11 月	キャリア研修・保護者支援	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キャリアアップ研修・乳児保育	株式会社ポピンズ
	キャリアアップ研修・障害児保育	横浜市こども青少年局
	いきいきフェスタ実行委員会	金沢区役所
12 月	キャリアアップ研修・保護者支援	白峰学園横浜女子短期大学保育センター
	キラキラかなざわっこ実行委員会	金沢区こども家庭支援課
	幼保小ブロック研修会	金沢区役所
1 月	キャリアアップ研マネジメント	保育ラボ
	キャリアアップ研修・保護者支援	白峰学園横浜女子短期大学保育センター

8. 施設の管理及び点検状況

- ・厨房ダムウォーター点検（年5回）
- ・厨房機器保守点検（年複数回）
- ・消防設備点検（年2回）
- ・グリストラップ清掃（年複数回）
- ・害虫駆除（年2回）
- ・布団乾燥（年4回）
- ・カーテンクリーニングメンテ（年1回）
- ・貯水槽清掃、水質検査。下水層配管清掃

9. 修繕及び備品等整備状況

○修繕実施状況

月	修 繕 内 容	金 額
10 月	園舎内各所工事	858,000 円
2 月	滑り台修繕工事	147,400 円

○備品購入品

月	修 繕 内 容	金 額
4 月	フレーベル館・おひるねベッド 20 個	198,000 円
	フレーベル館・新おぎょうぎチェア 46 脚	435,160 円
8 月	日本 HP・ノート PC 2 台	223,740 円
10 月	大塚商会・ノート PC 1 台	134,420 円

○備品購入（50 万円以上） 無し

4. 明德二俣川保育園 事業報告

1. 園における保育実施概要

保育理念に基づき、子どもの主体性を尊重した保育を実施し、生活や遊びを通して健やかで豊かな育ちを支え、促している。

オープンフロアの保育室において年齢ごとの保育を行うとともに、日常的に異年齢児との関わりを持つ環境を整えることで、社会性や協調性、思いやりの心の育成を図っている。年齢の枠を超えた関わりの中で、子ども同士が共に学び合い、育ち合うことを大切にしながら、日々の保育を行っている。

こうした保育環境のもと、子ども一人ひとりの発達段階や思いに寄り添った保育の充実に努めている。来年度以降において「保育」について園内、法人内で語らう風土を作っていきたい。

(1) 年齢別保育目標の実施状況

0歳児：安心できる環境のもと、一人ひとりとの丁寧な関わりを大切にし、愛着関係が築けるよう目標に沿った保育を行った。

1歳児：子どもの「自分でやってみたい」という気持ちを受け止め、達成感や満足感が得られるよう配慮した保育を行った。

2歳児：ことばの習得を促すため、保育士はマスク着用時においても口形や表情、はっきりとした発音を意識し、分かりやすい言葉掛けを心掛けた。

3歳児：様々な行事や活動に参加する機会を設け、体験を通して新しいことに挑戦する意欲を育むことができた。

4歳児：友達同士や保育士と十分に関わりながら遊べるよう環境を整え、一人ひとりの思いや特性に応じた個別の配慮を行った。

5歳児：子どもたちの自主的な発言を大切にし、そこから遊びが発展する経験を重ねることで、達成感や満足感を味わう姿が見られた。

また、異年齢児との関わりを日常的に取り入れ、相手に自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを汲み取ったりしながら、相手を思いやって行動できるよう保育を行った。

◎重点実施事項

ICTの推進

ICT化により、保護者とのやり取りや必要書類の電子化が進み、定着してきた。運用しながら、書類の形をさらに活用しやすいものに変えていかれるよう見直しを随時行っている。

また、保護者への連絡ツールに加え、これまで紙面で実施してきたアンケートなどを電子化することで情報収集や集計がスムーズになったほか、回収物の紛失等のリスクを減らすことができた。

職員確保・定着

職員確保・定着について、法人は労務の見直し・整備、園は「保育」業務分担の見直しなど行い職員定着へと取り組んだ。退職を選択する者もいたが、新たに2名の常勤を確保することがで

きた。今後について、「保育」について語らう風土を作っていくことも職員の定着につながると考えるので取り組んでいきたい。確保については紹介会社や実習生など窓口を広げ引き続き取り組んでいきたいと考える。

(2) 年間行事計画の実施状況

月	実 施 内 容
4 月	入園の会、進級の会、懇談会
5 月	個人面談
7 月	プール開き、七夕、ハッピーサマータイム☆ (5 歳児)、ボディベ インティング (5 歳児)
9 月	引き渡し訓練、懇談会
10 月	運動会、幼児遠足
11 月	みんなであそぼう会 (0、1 歳児)
12 月	お楽しみ会、クリスマス会
1 月	個人面談
2 月	節分、お店屋さんごっこ、懇談会
3 月	ひなまつり、お別れ遠足、お別れ交流会、卒園式 (5 歳児)

行事については、発達段階に応じた見直しを行い、0・1 歳児は運動会とは別の形で実施した。2 歳以上児については、日々の遊びの延長として、無理のない形で取り組むことができた。また、年長児のお泊まり保育については、宿泊そのものを目的とするのではなく、「子どもたちにどのような経験をさせたいか」という視点から内容を再構成し、泊まらない形で実施した。その結果、子どもたちの主体的な関わりが多く見られ、意欲的に活動に取り組む姿が見られた。

○月例行事

誕生会、避難訓練、英語遊び、リトミック、運動あそび

(3) 地域交流の実施状況

- ・ 幼保小交流事業は、二俣川小学校と行なう。
- ・ 西部エリアの年長児交流。

2. 園児数及び職員の状況

(1) 2025 年度園児数の推移

	保育 日数	年 齢						合計
		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
定員		9	12	15	18	18	18	90
4 月	25	6	12	15	16	18	18	85
5 月	23	6	12	15	16	18	18	85
6 月	26	9	12	15	16	18	18	88
7 月	25	9	11	15	16	18	17	86

8月	26	9	12	15	16	18	17	87
9月	24	9	12	15	16	18	17	87
10月	25	9	12	15	16	18	17	87
11月	24	9	12	15	16	18	18	88
12月	24	9	12	15	16	18	18	88
1月	23	9	12	15	16	18	18	88
2月	22	9	12	15	16	18	18	88
3月	26	9	12	15	16	18	18	88
合計	293	102	143	180	192	216	212	1045
対定員充足率	%	94%	99%	100%	88%	100%	98%	96%

(一時預かり事業実施状況)

一時保育利用者数							
	年 齢						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	—	—	0	0	0	1	1
5月	—	—	0	0	0	1	1
6月	—	—	0	0	0	0	0
7月	—	—	0	0	0	2	2
8月	—	—	0	0	0	10	10
9月	—	—	0	0	0	0	0
10月	—	—	0	0	0	1	1
11月	—	—	0	0	0	0	0
12月	—	—	0	0	0	3	3
1月	—	—	0	0	0	1	0
2月	—	—	0	0	0	0	0
3月	—	—	0	0	0	7	7
合計	—	—	0	0	0	0	25

(2) 職員の状況 (2026.3.31 現在 32 名)

施設長 1 名、主任 1 名、保育士 27 名 (うち非常勤 18 名)、保育補助 1 名 (非常勤)、事務 1 名、その他 1 名 (非常勤)

職員配置については、配置基準を満たしながら運営を行ったが、基準を満たすことが精一杯で、余裕の少ない状況であった。また、状況に応じて残業で対応する場面も多く見られた。

その中で、保育内容や行事については職員間で話し合いを重ね、子どもの発達や主体性を踏まえた保育の実施に努めた。

一方で、行事準備や計画立案においては負担が特定の職員に集中する場面も見られたため、今後は業務内容や進め方の整理・見直しを図り、職員一人ひとりの負担軽減と円滑な運営につなげていきたい。

3. 園児の健康・安全管理等

(1) 健康管理（感染症対策含む）

- ・健康診断 年2回 (5月、10月) 嘱託医：済生会横浜市南部病院 小児科医
- ・歯科健診 年2回 (6月、12月) 嘱託歯科医：こば歯科医
- ・視聴覚検査 年1回(3歳児)、尿検査 年1回(幼児)
- ・保健指導 年数回(全園児、幼児)

保健だより 毎月発行

※国や自治体のガイドラインに基づき、手洗い、消毒、換気等の感染症対策を継続して実施した。当園では胃腸炎（嘔吐・下痢）対応対策を考える年となった。

感染状況に応じて保護者への周知や職員間での情報共有を行い、感染拡大防止に努めた。

今後、感染症発生時の対応や環境整備について継続的に見直しを行っていく必要がある。

(2) 栄養管理（アレルギー対策含む）

- ・給食会議 毎月1回
- ・法人管理栄養士と(株)ニフスの栄養士による栄養素の質・バランスを考え季節の素材を積極的に取り入れた献立作成、栄養管理を実施
- ・法人管理栄養士による諸管理、食育指導

※食育活動では、野菜の栽培やクッキングなどを取り入れ、子どもたちが食材に親しみを持てるよう取り組んだ。特にさつまいもについては、直接農家から購入し、育て方の指導を受けるとともに、収穫後にはその様子を報告するなど、つながりを感じられる機会ともなった。自分たちで育てたり調理に関わったりする経験を通して、食への興味・関心が広がり、意欲的に食べようとする姿が見られた。

※アレルギー対策

- ・「保育所における食物アレルギー対応マニュアル」に則り、栄養士と連携してアレルギー食の配膳、対応を徹底
- ・アレルギー児用献立は保護者に毎月確認し、提供時は個別の食器とトレイを使用の都度確認し、個別のテーブルを使用

(3) 安全管理ほか

- ・非常災害時の避難訓練・消火訓練：毎月1回
- ・園内外の安全点検：毎週1回

※環境整備・安全点検

- ・保育環境の整備は、職員会議で検討を重ね整備に努めた
- ・園内外の安全点検は、毎週1回自主点検を施行
- ・ヒヤリ・ハットについては情報共有し安全対策の徹底

※防災対策

- ・避難訓練年間計画に基づき避難訓練（地震・火災・竜巻）及び、消火訓練を毎月1回実施
- ・大型地震を想定し9月1日に引き取り訓練を実施

※設備や玩具の点検・環境整備を行うとともに、ヒヤリハットや怪我の共有を通して事故防止に努めた。市への報告が必要な事故が3件発生したが、いずれも保護者の理解を得ながら

対応し終息した。今後も再発防止に努め、安全で安心な環境づくりに継続して取り組んでいく。

4. 保護者との連携

保護者との連携については、日々の送迎時の対話をはじめ、個人面談や電子連絡帳(CONNECT)を活用しながら継続的な情報共有に努めた。園だより（保健だより含む）や給食・食育だより、クラスだより等を発行・配信し、園での様子や取り組みの発信を行った。

また、クラス懇談会を実施し、園生活や子どもの育ちについて共有する機会を設けた。

苦情は特になく、発生時には担当者・責任者が対応する体制を整えている。保護者アンケートも実施し、今後の園運営や保育内容の改善に活かしていく。

5. 園運営の管理

職員会議を毎月実施するとともに、副主任会議やパート会議、乳児・幼児会議等を随時行い、職員間の情報共有や保育内容の確認に努めた。また、クラス会議や行事会議を通して共通理解を図るとともに、必要に応じて個別に話し合いの場を設け、子どもの姿や行事内容について検討を行った。

行事については、従来の形式にとらわれず、子どもの発達や主体性を踏まえた内容となるよう見直しを進めた。

6. 地域子育て支援の実施状況

地域子育て支援については、現状、貸し出し図書の実施にとどまり、十分な展開には至らなかった。一方で、園見学の機会は多くあるため、その場を活用して園での取り組みを周知することも有効であるとする。今後は、周知方法や実施内容について検討し、地域に開かれた支援の充実につなげていく必要がある。

7. 職員研修計画の実施状況 ※アンダーラインはオンライン研修

月	研 修 内 容	主 催
4月～11月	幼保小接続期研修会	横浜市こども青少年局
4月	<u>マネジメント（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>マネジメント（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>マネジメント（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>マネジメント（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
5月	<u>障害児保育（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>乳児保育（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>マネジメント（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>食育・アレルギー（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>幼児教育（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>乳児保育（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>幼児教育（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所
	<u>乳児保育（キャリアアップ）</u>	保育のデザイン研究所

6 月	幼保小教育連携研修会 全体会	横浜市こども青少年局
	西部エリア研修 5 歳児保育	旭区園長会西部エリア
	教育連携研修会幼保小 分科会	横浜市こども青少年局
	西部エリア研修 0, 1 歳児保育	横浜市こども青少年局
	救急救命研修	
7 月	西部エリア研修 4, 5 歳児保育	横浜市こども青少年局
8 月	幼児教育 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
9 月	幼児教育 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	保健衛生・安全対策 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	保護者支援・子育て支援 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	保護者支援・子育て支援 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	マネジメント (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	乳児保育 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	マネジメント (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	マネジメント (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	乳児保育 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	幼児保育 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
10 月	保護者支援・子育て支援 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	マネジメント (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
11 月	食育・アレルギー対応 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
12 月	障害児保育 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
1 月	マネジメント (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
2 月	マネジメント (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス
	保護者支援・子育て支援 (キャリアアップ)	保育のデザインアドバンス

8. 施設の管理及び点検状況

各種設備については定期的に点検を行い、安全の確保と適切な維持管理に努めた。

点検で確認された不具合については、状況に応じて修繕や整備を行い、安全な保育環境の維持を図った。また、設備管理業者と連携しながら、計画的かつ継続的に施設管理に取り組んだ。

- ・業務用安全確認点検・燃焼確認点検（東京ガス独自サービス）＊一酸化炭素中毒事故予防（厨房内コンロ、炊飯器）
- ・エアコン保守点検（年 1 回）
- ・エアコン分解清掃（年 1 回）
- ・厨房機器保守点検（年複数回）
- ・消防設備点検（年 2 回）
- ・グリストラップ清掃（年複数回）－
- ・害虫駆除（年 2 回）
- ・自動ドア点検（年 3 回）

- ・カーテンクリーニングメンテ（年１回）
- ・OA 機器保守
- ・倉庫片付け（栗原工務店）
- ・園庭遊具点検（チャイルド）

９．修繕及び備品等整備状況

園舎設備の老朽化や安全面を踏まえ、必要な修繕および整備を実施した。

今年度は経年劣化に伴う工事と職員休憩室の整備など施設環境の改善及び安全性向上を図った。

今後も設備状況を確認しながら、必要な修繕および環境整備を進めていく。

○修繕実施状況

月 日	修 繕 内 容	金 額
7/6	三菱電機ビルソリューションズ 室外機圧縮機他整備作業	¥1,100,000
1/11	リフレッシュ 屋上給湯器交換工事	¥338,778
1/24	リフレッシュ シャワー室給湯器交換工事	¥251,482
1/24	リフレッシュ 園庭シャワー給湯器交換工事	¥171,688
2/28	まるこ家具店 事務室レイアウト変更	¥1,133,000

○備品整備

月 日	備 品 内 容	金 額
8/6	HP ノートパソコン @101,700×7 台	¥783,090
8/19	まるこ家具店 倉庫キャスター付きワイヤーシェルフ	¥237,850
9/30	大塚商会 事務用ノートパソコン	¥122,200
10/30	給食企画体 アルマイト脇取盆配膳用 (@6,000×30 枚)	¥198,000
2/28	まるこ家具店 事務室用机、ラック	¥209,000
3/17	ホシザキ湘南 食洗器・スチームコンベクションオープン リース更新 リース月額 52,800×60 カ月	¥3,168,000

5. 明德かみつるま保育園 事業報告

1. 園における保育実施概要

生活や遊びを通して様々な学びが得られるよう保育を行った。園外活動を積極的に取り入れ、たくさん歩くことで体力づくりや体幹を鍛え、運動能力の向上を図った。

また、遠足で電車に乗る経験や図書館で本を借りる経験を通して、社会のルールやマナーを学ぶ機会を設けた。

(1) 年齢別保育目標の実施状況

0歳児 安心して過ごせる環境の中で、愛着関係が築けるよう保育を行った

1歳児 自分でやろうとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身につけられるよう援助した。

2歳児 様々な体験を通して、言葉を習得し自分の思いを言葉で表現できるよう保育を行った。

3歳児 様々な行事や活動に参加し、園生活の楽しさを感じられるよう保育を行った。

4歳児 生活の決まりを守り、望ましい生活習慣を身につけられるよう援助した。

5歳児 共通の目標に向かって友だちと力を合わせて活動し、達成感や充実感を味わえるよう取り組んだ。

◎重点実施項目

利用者（子ども）本位の保育

子どもの思いを受け止め、遊びを中心に、体・頭・心を十分に動かしながら、主体的に考え行動できるよう人的・物的環境を整え保育を行った。

職員の資質(人間性・専門性)の更なる向上

外部研修に参加するとともに、内部研修では職員主体で研修内容を検討し、学び合いを深めながら保育の質の向上に努めた。

地元住民・関係する行政機関・幼稚園・保育園・小学校の連携

地元の方の畑で土遊びや収穫体験を行い、地域との交流を深めた。

交通安全教室や防犯指導、行政機関による巡回訪問等を通して連携を図り、アドバイスを受けながら安全な保育環境づくりに努めた。

近隣の学校との連携では、幼保小交流として年長児が小学校1年生と交流を行ったほか、避難訓練では中学校へ一時避難を実施した。

また、幼保小研修では小学校教諭との情報交換や勉強会を行い、円滑な接続に向けた連携強化に努めた。

さらに、小学校の町探検や中学校・高校の職業体験の受け入れを行った。

主体性を尊重した、子ども中心の保育

子どもが自ら考え選び行動できるような関わりを重視し、それぞれの思いや願いを受け止めながら、自主的に表現できる環境づくりに努めた。

(2) 年間行事計画実施状況

月	実 施 内 容
4 月	入園式、なかよし会
6 月	歯科健診、個人面談
7 月	プール開き、七夕
8 月	すいか割り 夏フェスウィーク
9 月	引き取り訓練
10 月	運動会、幼児遠足、
11 月	個人面談、歯科健診、さつまいも掘り
12 月	発表会、クリスマス会、
1 月	人形劇、歯磨き指導、じゃがいも掘り
2 月	節分、防犯訓練、シャボン玉ショー
3 月	ひなまつり、パペットシアター、幼児遠足、お別れ遠足、 卒園式（5 歳児）

○月例行事

- ・内科健診、身体計測、誕生会（保育参観）、避難訓練、体操、

(3) 地域交流の実施状況

- ・近隣保育園・小学校との連携

連携小学校の谷口小学校、連携保育園の谷口保育園と年に数回交流を行った。

- ・11 月には近隣農家の協力を得てサツマイモ掘り、1 月にはじゃがいも掘りの体験を全園児が参加して収穫の楽しさを味わった。

2. 園児数及び職員の状況

(1) 2025 年度園児数の推移

	保育 日数	年 齢						合 計
		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	
定 員		3	9	9	13	13	13	60
4 月	25	3	9	13	14	9	14	62
5 月	24	3	9	13	14	9	14	62
6 月	25	3	9	13	14	9	14	62
7 月	26	3	9	13	14	9	14	62
8 月	25	3	9	13	14	9	14	62
9 月	24	3	9	13	14	9	14	62
10 月	26	3	9	13	14	9	14	62
11 月	23	3	9	13	14	9	14	62
12 月	24	3	9	13	14	10	14	63
1 月	23	3	9	13	14	10	14	63
2 月	22	3	9	13	14	10	14	63
3 月	25	3	9	13	14	9	14	62

合計	292	36	108	156	168	129	168	747
対定員充足率	%	100%	100%	144%	108%	83%	108%	104%

(一時預かり事業実施状況)

一時保育利用者数							
	年齢						合計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	2	0	0	0	2
6月	0	0	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	1	0	0	0	1
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	4	0	0	0	0	4
2月	0	3	0	0	0	0	3
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	7	4	0	0	0	11

(2) 職員数(2026.3.31 現在 19名)

施設長 1名、主任 1名、保育士 16名 (うち非常勤 6名)、事務 1名 (非常勤)

保育士 2名育休

3. 園児の健康・安全管理等

(1) 健康管理 (感染症対策含む)

・内科健診 0,1歳児 年2回

2歳児以上年2回 嘱託医：のんのキッズクリニック

・歯科健診 年2回 (5月、11月) 嘱託歯科医：庄井歯科医院

・尿検査 年1回 (全園児)

・保健だより 毎月発行

・布団乾燥 年1回

(2) 栄養管理 (アレルギー対策含む)

・給食会議 毎月1回

・法人管理栄養士と給食委託会社一富士フードサービスの栄養士による栄養素の質・バランスを考え季節の素材を積極的に取り入れた献立作成、栄養管理を実施

・法人管理栄養士による諸管理、食育指導

※アレルギー対策

- ・「相模原市立保育所における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、栄養士と連携してアレルギー食の配膳、対応を徹底
- ・アレルギー児用献立は保護者に毎月確認し、提供時は個別の食器とトレイを使用。
- ・フローチャートに基づき確認をし、個別のテーブルを使用

(3) 安全管理ほか

- ・非常災害時の避難訓練・消火訓練：毎月1回
- ・園内外の安全点検：毎週1回

※環境整備・安全点検・事故の防止策

- ・園外公園マップ、ヒヤリハットマップを掲示し保護者にも周知した。
- ・事故報告、怪我記録、ヒヤリ・ハットを活用しながら職員間で再発防止に努めた。
- ・消防職員による水消火器講習、職員による嘔吐処理実習講演を行った。
- ・園内、園外の安全チェック項目に従い、安全管理に努めた。
- ・市の交通・地域安全課の職員による不審者対応の実践訓練研修を実施し、職員の意識を高めた。

※防災対策

- ・避難訓練年間計画に基づき避難訓練（地震・火災・竜巻）及び、消火訓練を毎月1回実施
- ・大型地震を想定し9月1日に引き取り訓練を実施。
- ・広域避難場所である谷口中学校への避難訓練を実施。

4. 保護者との連携

- ・園だより、給食だより、食育だより（献立表含む）、保健だよりを毎月配信

5. 園運営の管理

- ・月1回職員会議・非常勤会議実施
- ・幼児会議、乳児会議 随時実施
- ・コンプライアンス事案については、事実確認及び再発防止策を策定し、必要な行政報告、返金対応、承認プロセスの見直し等を実施した。備品購入、給与計算について改善を進め、牽制機能の強化に努めた。

6. 地域子育て支援の実施状況

- 子育てひろば(月1回)、
- 園庭開放（毎日10:00～11:00）
- 身体測定（月1回）

7. 職員研修計画の実施状況

- ①危機管理について ②嘔吐処理 ③防犯訓練（市の職員による指導）

※アンダーラインはオンライン研修

月		主催
5月	<u>支援保育コーディネーター研修（基礎編①②）</u>	相模原市
6月	幼・保・小連携研修①	
	<u>障害児保育・特別支援教育に関する研修①</u>	
7月	食育・アレルギー対応に関する研修①②	
	マネジメントに関する研修①	
	<u>障害児保育・特別支援教育に関する研修②</u>	
8月	<u>食育・アレルギー対応に関する研修③④⑤</u>	
	マネジメントに関する研修②	
9月	<u>支援保育コーディネーター研修（基礎編③）</u>	相模原市
	マネジメントに関する研修③	
	<u>障害児保育・特別支援教育に関する研修③</u>	
10月	<u>障害児保育・特別支援教育に関する研修④</u>	
11月	<u>支援コーディネーター研修（基礎編④）</u>	
	マネジメントに関する研修④	
	障害児保育・特別支援教育に関する研修⑤	
12月	マネジメントに関する研修⑤ 乳幼児の事故や疾病への対応	
1月	支援保育コーディネーター研修（基礎編⑤・発展編④） <u>幼・保・小連携研修②</u>	

月		主催
6月	保健衛生・安全対策に関する研修①②	白峰学園横浜 女子 短期大学保育 センター
9月	保健衛生・安全対策に関する研修③	
	障害児保育・特別支援教育に関する研修①	
10月	障害児保育・特別支援教育に関する研修②③	
	食育・アレルギー対応に関する研修①	
	保健衛生・安全対策に関する研修④⑤	
11月	食育・アレルギー対応に関する研修②③	
	障害児保育・特別支援教育に関する研修④⑤	
1月	食育・アレルギー対応講座④⑤	

8. 施設の管理及び点検状況

- ・エアコンのクリーニング
- ・厨房機器保守点検（年複数回）
- ・消防設備点検（年2回）
- ・グリストラップ清掃（年複数回）
- ・害虫駆除（年2回）
- ・カーテンクリーニングメンテ・布団乾燥（年1回）
- ・エレベーター点検

9. 修繕及び備品等整備状況

○修繕実施状況

月	修 繕 内 容	金 額
4 月	洗面改修工事	760,000 円
5 月	エアコン、換気扇クリーニング	394,640 円
11 月	エアコン、換気扇クリーニング	393,800 円

○備品購入

8 月	ノートパソコン 4 台	447,480 円
8 月	ノートパソコン 1 台 事務用	134,420 円
8 月	木かげターフ天幕 6 枚	336,000 円